



## ◇第2回 生物工学 産学技術研究会 報告◇

(企画担当理事) 柳 謙三・坂口 正明

日本生物工学会は、産業や社会と密接に関係する産業バイオテクノロジーの学会として、産学の連携や交流のあらたな場の提供と充実、人材（特に若手）育成、産学のニーズの把握などを基本方針に産学連携活動を行っています。プロフェッショナルな「ものづくり」に携わった演者によるご講演をいただき、実用化技術、商品化技術を中心にしたテーマで第2回目の「生物工学技術研究会」をサントリー（株）山崎蒸留所で行いました。参加人数は約100名、学生の参加者が多く、たいへん盛り上がりのある研究会でした。

◆「酒造りの技術を活かした新商品開発～機能性食品・化粧品原料～」 (月桂冠(株) 秦 洋二)  
麹菌が生産する機能性ペプチドの効能や麹菌酵素を用いた新規染毛料のバイオ生産など、酒造りの技術を活かした新商品開発についてお話をいただきました。

◆「醗酵産物由来医薬品の開発」 (アステラス製薬(株) 日野 資弘)  
カビの一種である *Coleophoma empetri* F-11899 の培養液から見出された FR901379 の誘導體、抗真菌剤ミカファンギンの開発を例に発酵産物由来医薬品の開発を紹介されました。

◆「ウイスキーづくりの継承と革新」 (サントリー酒類(株) 輿水 精一)  
ウイスキーの魅力、価値は樽で長期間熟成させることによって生まれる複雑で芳醇な味わいである。世界第一級のウイスキーづくりを目指し、伝統的な製法のもつ優れた点を継承しながら、常に新しいことに挑戦し続けてきたウイスキーづくりについて、貯蔵、ブレンドを中心に紹介されました。

参加者からは「普段の学会では、聞くことのできないプロの造り手の講演は素晴らしかった」「企業での研究活動内容は、説得力があり、刺激された、たいへん勉強になり、今後の研究での視野が広がることへ結びつけたい」「産業界の研究を実感し、知的な刺激になった」「色々な現場、分野で働いている人の産業界の実用技術、成功技術、成功商品の話を聞きたい」「いずれのご講演も新鮮で、聞き応えのあるものでした」など多数のご意見を頂きました。特に、学生と産業人のコミュニケーションに盛り上がり、今後も本研究会を継続・発展していきたいと考えています。



柳副会長の挨拶



講演を熱心に聞き入る参加者



伝統を継承しつつ新技術への挑戦を続ける研究者



工場見学



活発な産学交流が行われた懇親会